



令和元年6月25日

2019年度広島大学平和センター国際シンポジウム
「HIROSHIMA とピースツーリズム」を開催します

被爆から 74 年、「国際平和文化都市・広島」のメッセージは、ツーリズムを通じて国内外に広く伝えられ、継承され、ゆっくりと熟成しながら社会の深層心理に働きかけてきました。いわば、市民参加型の核の抑止力です。

ピースツーリズムは、人の移動と出会いを促し、地域の発展、国際交流・相互理解、社会の再構築を促進する可能性を秘めています。観光者が「記憶の場」を実体験し、平和メッセージを受け止め、自主的な行動を起こすとき、国境を超えた平和が構築されます。

本シンポジウムでは、世界のピースツーリズム研究・実践の第一線で活躍する専門家を招き、ツーリズムを介した戦争体験の記憶継承の可能性、さらには、ツーリズムが平和構築に果たす役割について考えます。

【日時】2019年7月20日（土）13時～17時15分

【会場】広島国際会議場 地下2階 ヒマワリ

【対象】どなたでも

【講演者】

山田義裕（北海道大学大学院メディア・コミュニケーション研究院前院長）

マイク・ロビンソン（バーミンガム大学アイロンブリッジ国際文化遺産研究所所長、英国学士院 Levant 英国研究審議会役員・理事、UNESCO 世界遺産と持続可能な観光専門家委員会委員）

チョン・グンシク（ソウル国立大学社会学部教授）

ルリ・ファン・デル・ドゥース（広島大学平和センター准教授）

志賀賢治（広島平和記念資料館前館長）

【参加費】無料

【申し込み方法】

電話、郵便はがき、FAX 又は E-mail で氏名、連絡先、手話通訳・要約筆記が必要な方はその旨を、広島大学平和センターへご連絡下さい。

（手話通訳・要約筆記が必要な方は7月10日（水）迄にお願い致します。）

【お問い合わせ先】

平和センター

TEL:082-542-6975 FAX:082-245-0585

E-mail: heiwa@hiroshima-u.ac.jp



広島大学平和センター主催 2019年度国際シンポジウム

広島平和文化センター広島国際会議場 (30周年記念事業)、 広島平和記念資料館
北海道大学大学院メディア・コミュニケーション研究院、 ソウル国立大学 共催

2019 International Symposium
HIROSHIMA and Peace Tourism
2019년 국제 심포지엄 히로시마와 평화관광

広島
ヒロシマ
HIROSHIMA と
広島
ピース
ツリーズ

2019. 7. 20 13:00~17:15

広島国際会議場「ヒマワリ」

HIMAWARI hall

International Conference Center Hiroshima

해바라기 히로시마 국제회의장

参加無料 Admission Free 참가비 무료

日・韓・英 同時通訳あり

JP/KR/EN Simultaneous Interpretation

한국어 일본어 영어 동시 통역

日本語手話通訳・要約筆記申し込み:7月10日(水)必着

参加申し込み・お問合せ: 広島大学平和センター

〒730-0053 広島市中区東千田町 1-1-89 電話 082-542-6975

Fax 082-245-0585 E-メール heiwa@hiroshima-u.ac.jp



国際シンポジウム「HIROSHIMAとピース・ツーリズム」

2019年7月20日(土) 13:00-17:15 (12:30 開場・受付)

広島国際会議場 ヒマワリ 参加無料



司会進行：友次晋介 広島大学平和センター准教授 Moderator: Shinsuke Tomotsugu, Associate Professor The Center for Peace, Hiroshima University

13:00-13:15 開会のあいさつ・趣旨説明 Opening Address & Introduction



川野徳幸 広島大学平和センター センター長・教授。広島大学原爆放射線医学研究所附属国際放射線情報センター助手・助教、広島大学平和科学センター准教授、2013年から同センター教授、2017年4月より現職。専門は原爆・被ばく研究、平和学。Professor Noriyuki KAWANO (PhD). Director of the Center for Peace, Hiroshima University.

13:15-13:25 共催者挨拶 Co-host's Remarks



西川克之 北海道大学大学院メディア・コミュニケーション研究院 院長、同大学院国際広報メディア・観光学院 学院長・教授。北海道大学大学院文学研究科修士課程修了。専門は観光社会文化論、近代イギリス研究。Professor Katsuyuki NISHIKAWA. Professor and Dean of the Research Faculty of Media and Communication / Graduate School of International Media, Communication and Tourism Studies, Hokkaido University.

13:25-13:55 平和観光における「偶有性」と「連帯」 "Contingency" and "Solidarity" in Peace Tourism



山田義裕 北海道大学大学院メディア・コミュニケーション研究院 前院長、同大学院国際広報メディア・観光学院 前学院長・教授。北海道大学大学院文学研究科英米文学専攻博士後期課程単位取得退学。同研究科助手、同大学言語文化学部助教授、同大学国際広報メディア研究科教授を経て、2004年より現職。専門は、観光文化論および、観光創造の他者論とコミュニケーション論。Professor Yoshihiro Yamada. Professor and Former Dean of the Research Faculty of Media and Communication / Graduate School of International Media, Communication, and Tourism Studies, Hokkaido University.

13:55-14:05 休憩 (10分) Coffee Break

14:05-14:35 基調講演：石に学ぶ～古きものに新たな物語を

Keynote Lecture: Learning from Stones: Providing New Narratives for Old Things



マイク・ロビンソン バーミンガム大学アイロンブリッジ国際文化遺産研究所 所長・教授。UNESCO/UNITWIN 観光・文化・開発ネットワーク委員。英国学士院 Levant 英国研究審議会役員・理事。UNESCO世界遺産と持続可能な観光専門家委員会委員などを歴任。Professor Mike ROBINSON (PhD). Professor Robinson is full Professor of Cultural Heritage, University of Birmingham, UK and Director of the Ironbridge International Institute for Cultural Heritage. For over thirty years he has worked in over 30 countries at the intersections between heritage, tourism and culture and has worked with UNESCO on several projects.

14:35-15:05 特別講演：韓国の冷戦景観とピース・ツーリズム Special Lecture: Cold War Landscape and Peace Tourism in South Korea



チョン・グンシク 정근식ソウル国立大学社会学部教授。統一平和研究院 前院長。北東アジア研究センター 前センター長。Professor Keun-Sik JUNG (PhD). Professor of Sociology, Department of Sociology at Seoul National University. He has served as the Chair of the Senate of Seoul National University (2013~15), Chair of Korean Oral History Association (2015~16), Chair of Korean Cold War Studies Association (2015~17), Head of the Northeast Asian Institute, SNU Asia Center, and Director of the Institute of Unification and Peace Studies at Seoul National University (2016~18).

15:05-15:15 休憩 (10分) Coffee Break

15:15-15:45 ピース・ツーリズムと当事者性・居場所感 Peace Tourism and Personal Relevance



ファン・デル・ドゥース ルリ 広島大学平和センター准教授。エジンバラ大学応用言語学部教員、ケンブリッジ大学応用言語学部 Chevening 研究員、シェフィールド大学社会科学院東洋学部講師、日本学術振興会特別研究員などを経て、2019年4月より現職。多領域横断手法を用いて原爆・被爆体験と戦争記憶の市民参加型継承を探究。Dr. Luli van der DOES, Associate Professor (PhD), the Center for Peace, Hiroshima University.

15:45-16:15 ヒロシマの未来と資料館の役割～世界史的視座から

HIROSHIMA's Future and the Role of Hiroshima Peace Memorial Museum: A Global Historical Viewpoint



志賀賢治 広島市役所社会局地域福祉課監査指導室長、企画総務局情報政策担当部長、広島市立大学事務局長、健康福祉局長、人事委員会事務局長などを歴任し、2013年広島市役所退職。2019年3月まで広島平和記念資料館館長。在職中、原爆体験の記憶の継承を目的とした博物館のネットワーク構築と相互交流を意欲的に展開。Mr. Kenji SHIGA, Former Director of Hiroshima Peace Memorial Museum (2014~19).

16:15-16:25 休憩 (10分) Coffee Break

16:25-17:05 総合討論 (コーディネーター 片柳真理) Panel Discussion (Chaired by: Mari Katayanagi)



片柳真理 広島大学大学院国際協力研究科 副研究科長・教授。同大学平和センター 副センター長。国連東スラボニア暫定統治機構人権担当官、民生担当官、在ボスニア・ヘルツェゴビナ日本大使館専門調査員、ボスニア・ヘルツェゴビナ上級代表事務所政治顧問、JICA 研究所主任研究員、広島大学准教授を経て、2015年4月より同大学教授。Professor Mari KATAYANAGI, (PhD.) Professor/Vice Dean, Graduate School for International Development and Cooperation, Hiroshima University. Vice Director, The Center for Peace, Hiroshima University.

17:05-17:15 閉会のあいさつ Closing Address



越智光夫 広島大学学長。2007年~11年広島大学病院長、2008~11年理事、2011~12年理事・副学長を歴任。2015年4月より現職。2010年に文部科学大臣表彰「科学技術賞」、2014年に産学官連携功労者表彰「厚生労働大臣賞」、2015年に紫綬褒章を受賞。医学博士。Dr. Mitsuo OCHI (M.D. PhD), President of Hiroshima University since April 2015.



ご氏名	<お申し込み先> 広島大学平和センター 〒730-0053 広島市中区東千田町1-1-89 電話 082-542-6975 Fax 082-245-0585 Eメール heiwa@hiroshima-u.ac.jp	
ご連絡先		
手話通訳・要約筆記	いる	いない